



2024年9月期 連結決算 説明資料

2024年11月14日



目次

1. エグゼクティブ・サマリー

2. 2024年9月期 連結業績

3. 各事業セグメントの概況

- 毎日の暮らし事業
- ライフイベント事業
- 投資・インキュベーション事業



1. エグゼクティブ・サマリー

- 通期業績予想に対する達成率は 売上高 97.2%、営業利益 90.2%、EBITDA 94.7%

	20/9期 ※	21/9期 ※	22/9期	23/9期	24/9期	24/9期		
	実績	実績	実績	実績	予想	実績	前期比	達成率
売上高	6,042	11,256	18,625	20,486	16,000	15,544	75.9 %	97.2 %
営業利益	604	1,000	1,558	1,882	700	631	33.6 %	90.2 %
EBITDA	890	1,617	2,581	2,926	1,800	1,705	58.3 %	94.7 %

(単位：百万円)

※ 2020年9月期（2019年10月～2020年9月）及び2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、それぞれの期間における旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

- 売上高は 15,544百万円（前期比 75.9%）、営業利益は 631百万円（前期比 33.6%）、EBITDA は 1,705百万円（前期比 58.3%）で着地

各事業の進捗

毎日の暮らし事業	<ul style="list-style-type: none">• トクバイ事業は有料掲載店舗数が伸び悩み。• コスト削減を推進するも、通期ではメディア広告の減益による事業全体へのインパクトが大きい。
ライフイベント事業	<p>住まい領域</p> <ul style="list-style-type: none">• 厳しい市況の中、くふう住まいコンサルティング※はWeb集客支援や商材拡充に一定の効果、不採算事業を整理。• くふう住まいはイエタテ事業の相談カウンターの成約件数増加等が業績に寄与、新規出店も概ね計画通りに進捗。 <p>結婚領域</p> <ul style="list-style-type: none">• メディア事業の市場環境は厳しいが、商材拡充による収益力強化を推進。 結婚式プロデュース事業は施行件数が増加、受注も堅調に推移し、領域での通期黒字化を達成。
投資・インキュベーション事業	<ul style="list-style-type: none">• 純投資事業は営業投資有価証券の売却益を計上するも、前期水準には及ばず。• インキュベーション事業において、9月に連結子会社のキッズスターが東証グロース市場に上場。

※ 2024年8月1日付で ハイアス・アンド・カンパニー(株) から (株)くふう住まいコンサルティングへ商号変更。

2025年9月期 連結業績予想

- 2025年9月期は 売上高14,000百万円（前期比 90.1%）、営業利益 500百万円（前期比 79.1%）、EBITDA 1,600百万円（前期比 93.8%）を計画

	24/9期	25/9期	
	実績	予想	前期比
売上高	15,544	14,000	90.1 %
営業利益	631	500	79.1 %
EBITDA	1,705	1,600	93.8 %

（単位：百万円）

くふうカンパニーグループが提供する全ての事業において、
オンライン・オフラインのサービスをワンストップで提供し、

No.1のサービスへ

買い物 2年後に契約店舗数 & ユーザー数で圧倒的 No.1

住まい 4年後に住宅関連施工取扱い件数 No.1

結婚 4年後に結婚式取扱い件数 No.1

2. 2024年9月期 連結業績

- 毎日の暮らし事業を中心としたグループの構築に向けて、24/9期を通じて構成会社の絞り込み等を実施

毎日の暮らし事業

- ロコガイド
 - くふう AI スタジオ
- ✓ 2024年11月1日付で くふう AI スタジオ が RETRIP を吸収合併
✓ 2025年1月1日付で ロコガイド と くふう AI スタジオ を統合予定

ライフイベント事業

- くふう住まいコンサルティング グループ
- くふう住まい
- くふうウェディング

投資・インキュベーション事業

- くふうしずおか
- キッズスター
- ゴールドエッグス
- Seven Signatures International (SSI)
- くふうキャピタル
- くふうカンパニー (投資事業)

- 売上高は 15,544百万円（前期比 75.9%）、通期業績予想に対する達成率は 97.2%

	23/9期	24/9期			
	実績	実績	前期比	予想	達成率
売上高	20,486	15,544	75.9%	16,000	97.2%
毎日の暮らし事業 ※1	3,132	3,028	96.7%	-	-
ライフイベント事業	11,803	9,148	77.5%	-	-
投資・インキュベーション事業 ※2	5,614	3,666	65.3%	-	-
その他	189	-	-	-	-
調整額	▲254	▲299	-	-	-

（単位：百万円）

※1：2024年7月1日付で(株)ロコガイドが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)くふうジオデータを吸収合併。

※2：投資・インキュベーション事業において(株)ゴールドエッグスを2024年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。

連結業績 営業利益・EBITDA

- 営業利益は 631百万円（前期比 33.6%）、通期業績予想に対する達成率は 90.2%
- EBITDA は 1,705百万円（前期比 58.3%）、通期業績予想に対する達成率は 94.7%

	23/9期	24/9期			
	実績	実績	前期比	予想	達成率
営業利益	1,882	631	33.6%	700	90.2%
毎日の暮らし事業 ※1	829	603	72.7%	-	-
ライフイベント事業	680	669	98.3%	-	-
投資・インキュベーション事業 ※2	1,550	525	33.9%	-	-
その他	▲149	-	-	-	-
調整額	▲1,027	▲1,165	-	-	-
EBITDA	2,926	1,705	58.3%	1,800	94.7%

（単位：百万円）

※1：2024年7月1日付で(株)ロコガイドが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)くふうジオデータを吸収合併。

※2：投資・インキュベーション事業において(株)ゴールドエッグスを2024年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。

- 24/9期は上期に赤字に転落するも、下期に取り戻して通期は黒字に

	23/9期				24/9期					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 ※	Q3	Q4	前年同期比	前四半期比
売上高	4,883	4,362	6,543	4,696	3,263	3,627	4,623	4,028	85.8%	87.1%
営業利益	433	151	1,023	274	▲117	▲47	507	288	105.2%	56.8%
EBITDA	685	418	1,285	536	134	219	779	571	106.6%	73.3%

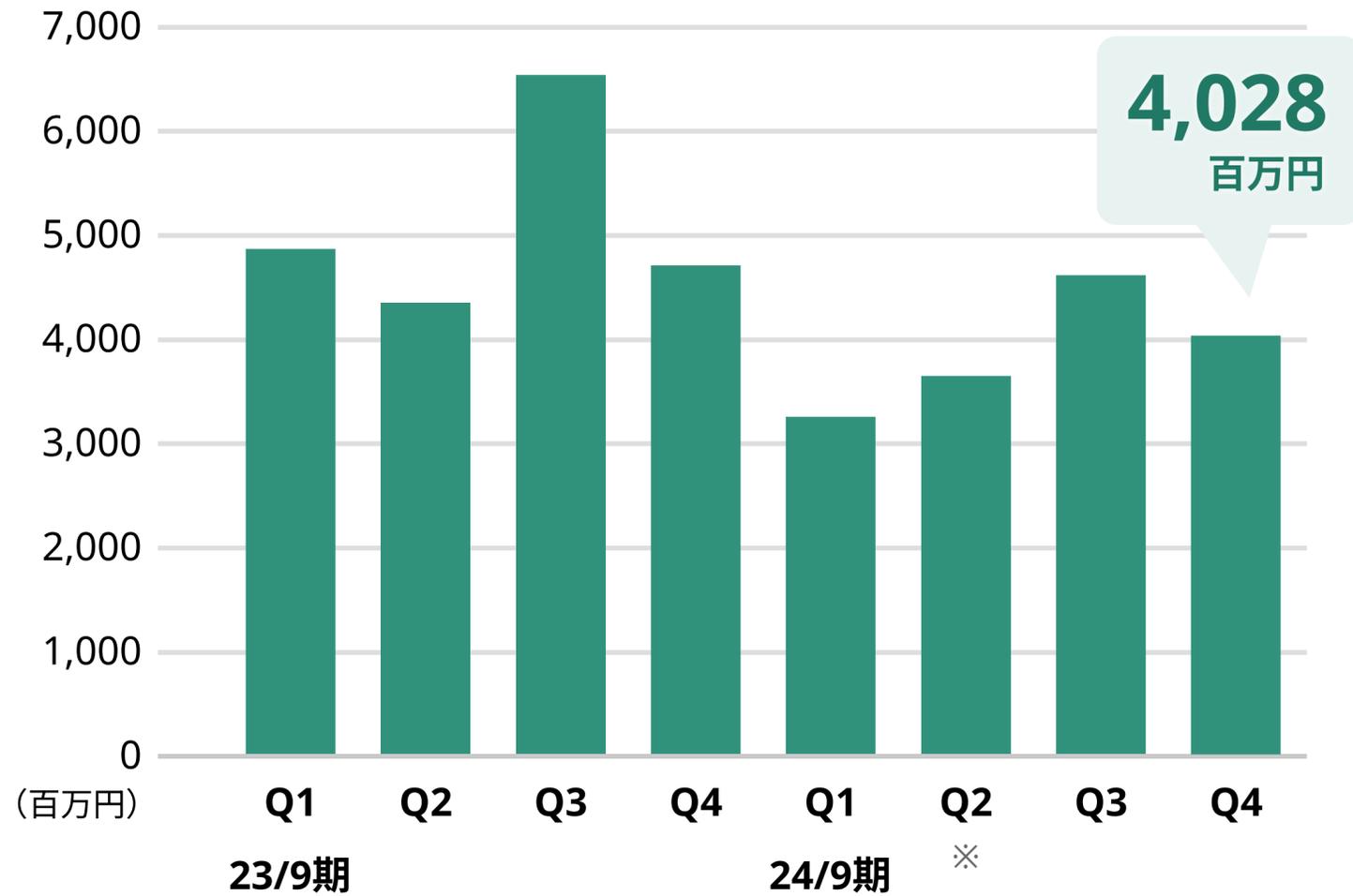
(単位：百万円)

※ 投資・インキュベーション事業において (株)ゴールドエッグスを2024年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。

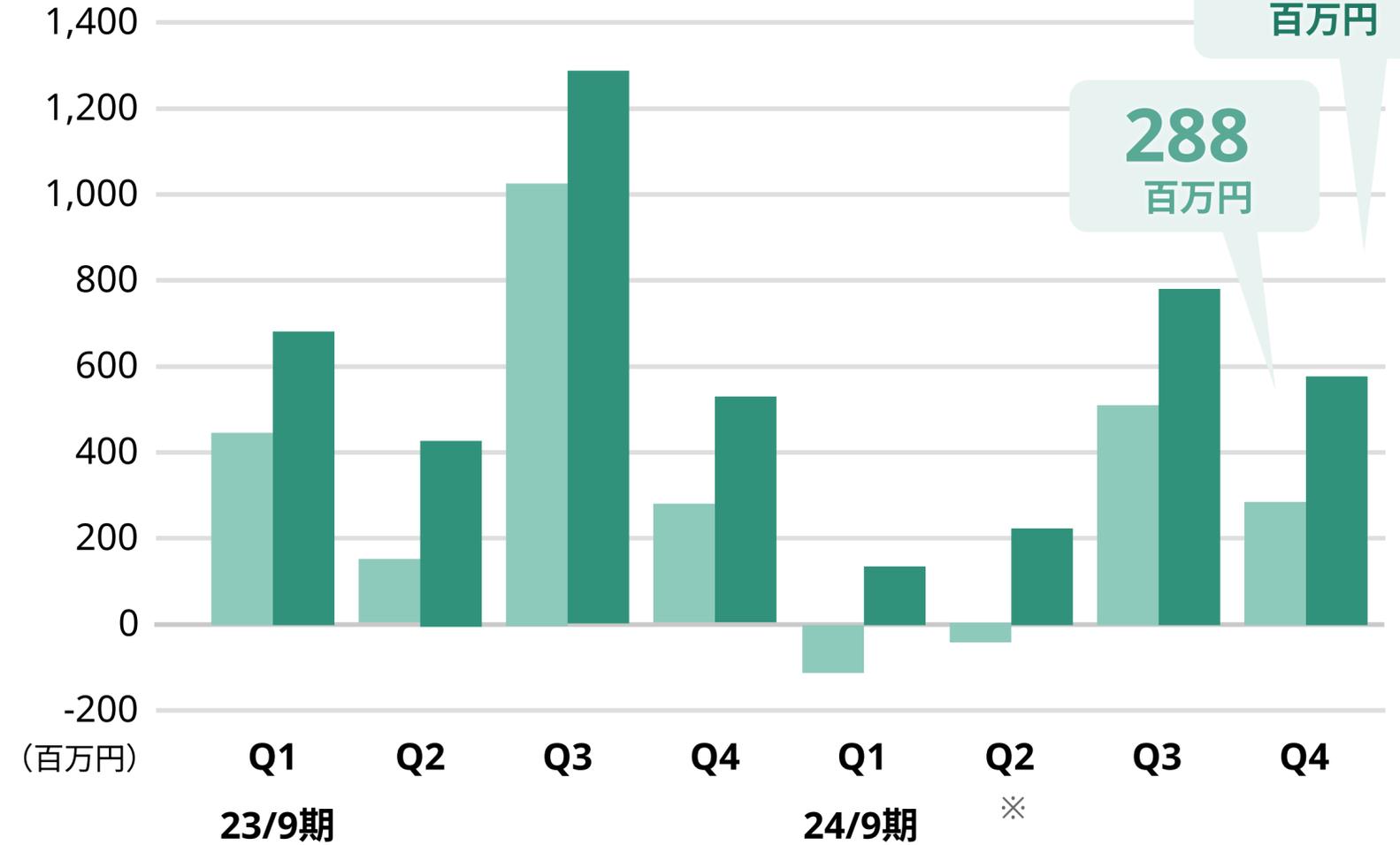
連結業績 四半期推移

- 24/9期は上期に赤字に転落するも、下期に取り戻して通期は黒字に

売上高



営業利益 EBITDA



※ 投資・インキュベーション事業において(株)ゴールドエッグスを2024年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。

連結業績 セグメント別 売上高（四半期）

- ・ 毎日の暮らし事業はトクバイ事業が伸び悩み
- ・ 投資・インキュベーション事業は Q3 に営業投資有価証券の売却に伴う売上高を計上

		23/9期				24/9期					
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 ※1	Q3	Q4 ※2	前年同期比	前四半期比
売上高	毎日の暮らし事業	771	806	698	856	772	764	759	731	85.5%	96.3%
	ライフイベント事業	2,515	2,975	3,236	3,076	2,150	2,320	2,184	2,492	81.0%	114.1%
	投資・インキュベーション事業	1,590	569	2,602	852	426	625	1,752	862	101.2%	49.2%
	その他	50	58	80	-	-	-	-	-	-	-
	調整額	▲43	▲47	▲74	▲88	▲86	▲82	▲72	▲57	-	-
	合計	4,883	4,362	6,543	4,696	3,263	3,627	4,623	4,028	85.8%	87.1%

(単位：百万円)

※1：投資・インキュベーション事業において(株)ゴールドエッグスを2024年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。

※2：2024年7月1日付で(株)ロコガイドが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)くふうジオデータを吸収合併。

連結業績 セグメント別 営業利益（四半期）

- ・毎日の暮らし事業はコスト削減を推進するも、効果発現には至らず
- ・ライフイベント事業は上期の遅れを取り戻し、投資・インキュベーション事業はQ3に営業投資有価証券の売却益を計上

		23/9期				24/9期					
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 ※1	Q3	Q4 ※2	前年同期比	前四半期比
営業利益	毎日の暮らし事業	250	251	143	183	163	182	144	112	61.0%	77.6%
	ライフイベント事業	109	132	192	246	8	80	231	348	141.6%	150.4%
	投資・インキュベーション事業	405	53	983	107	▲58	▲12	460	134	125.5%	29.2%
	その他	▲61	▲44	▲44	-	-	-	-	-	-	-
	調整額	▲269	▲242	▲252	▲263	▲231	▲297	▲329	▲307	-	-
	合計	433	151	1,023	274	▲117	▲47	507	288	105.2%	56.8%

(単位：百万円)

※1：投資・インキュベーション事業において(株)ゴールドエッグスを2024年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。

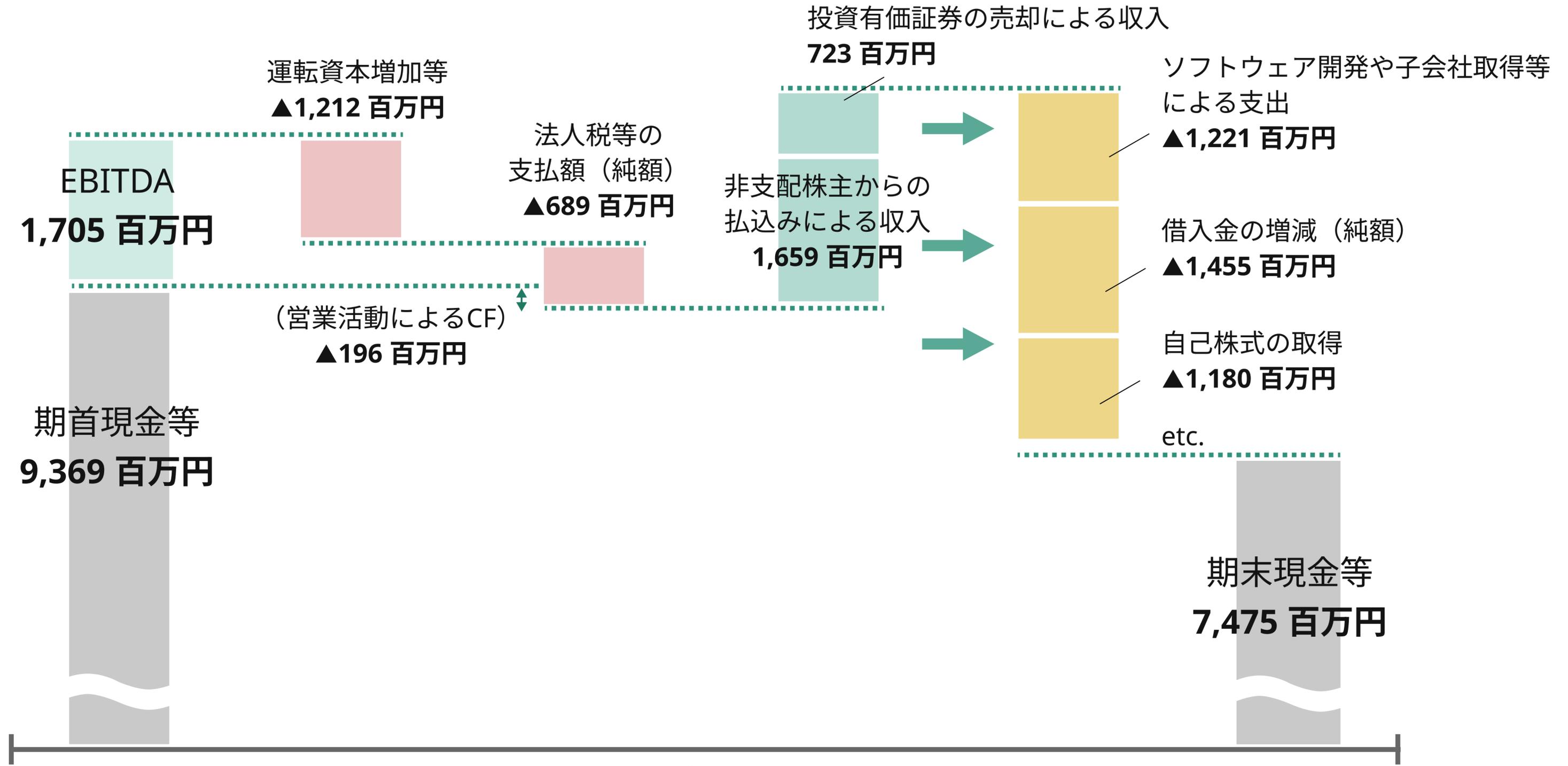
※2：2024年7月1日付で(株)ロコガイドが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)くふうジオデータを吸収合併。

	2023年9月末	2024年9月末	増減額	増減要因
流動資産	14,122	12,805	▲1,316	・現金及び預金は、営業活動による資金獲得や投資有価証券の売却等を実施した一方、子会社株式の取得、借入金の返済、自己株式の取得等により 1,899百万円減少
（現金及び預金）	9,405	7,505	▲1,899	
（営業投資有価証券）	1,334	1,691	357	
（販売用不動産）	1,232	1,483	251	
固定資産	6,851	6,055	▲795	・投資その他の資産は、投資有価証券の一部売却等により 687百万円減少
（のれん）	3,591	3,459	▲131	
（投資その他の資産）	1,795	1,107	▲687	
資産	20,973	18,875	▲2,097	
負債	9,376	6,705	▲2,670	・短期借入金及び長期借入金は、返済により 1,794百万円減少
（短期借入金及び長期借入金）	5,349	3,555	▲1,794	
純資産	11,596	12,169	572	・自己株式は、当期において 1,180百万円取得した一方、9月に 1,311百万円の消却を実施したこと等により 100百万円減少（純資産は増加）
（資本金）	13	30	16	
（資本剰余金）	8,452	8,635	182	
（利益剰余金）	1,739	2,047	308	
（自己株式）	▲132	▲32	100	
（その他有価証券評価差額金）	▲13	30	43	
（非支配株主持分）	1,517	1,451	▲66	
負債及び純資産	20,973	18,875	▲2,097	

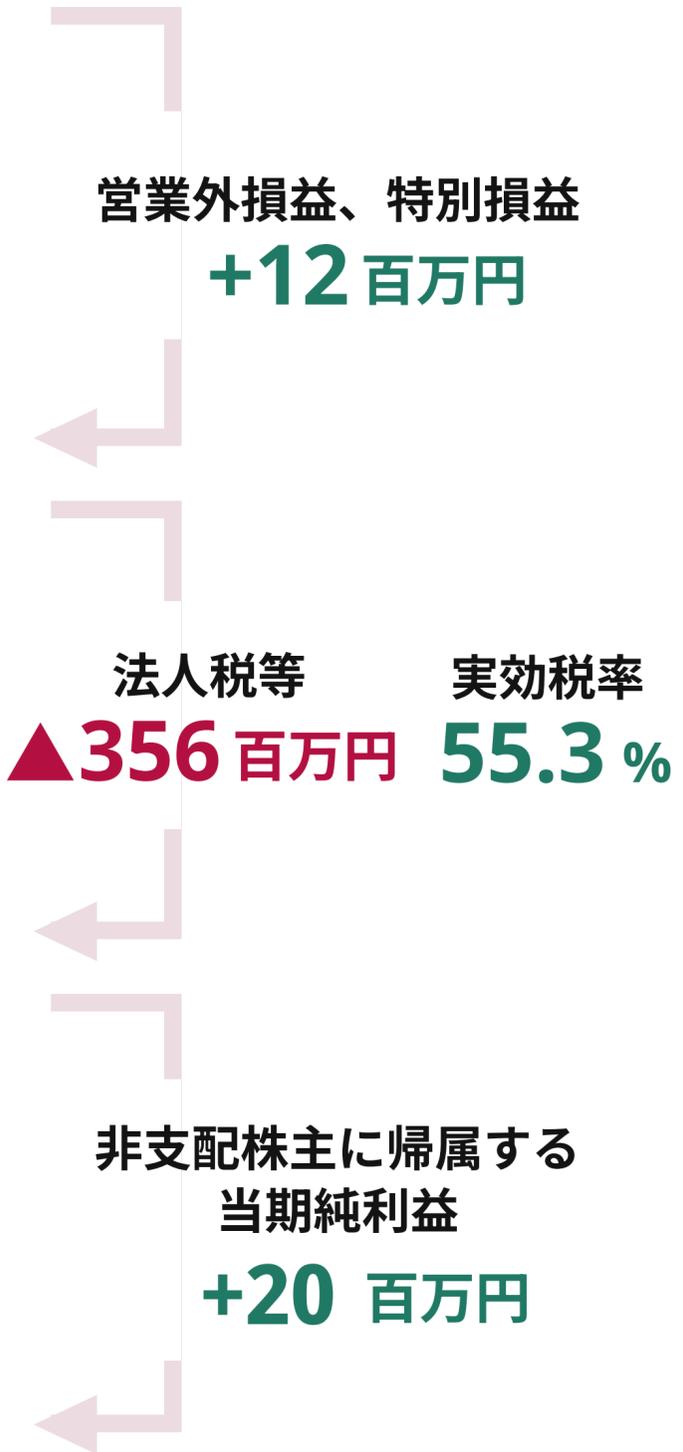
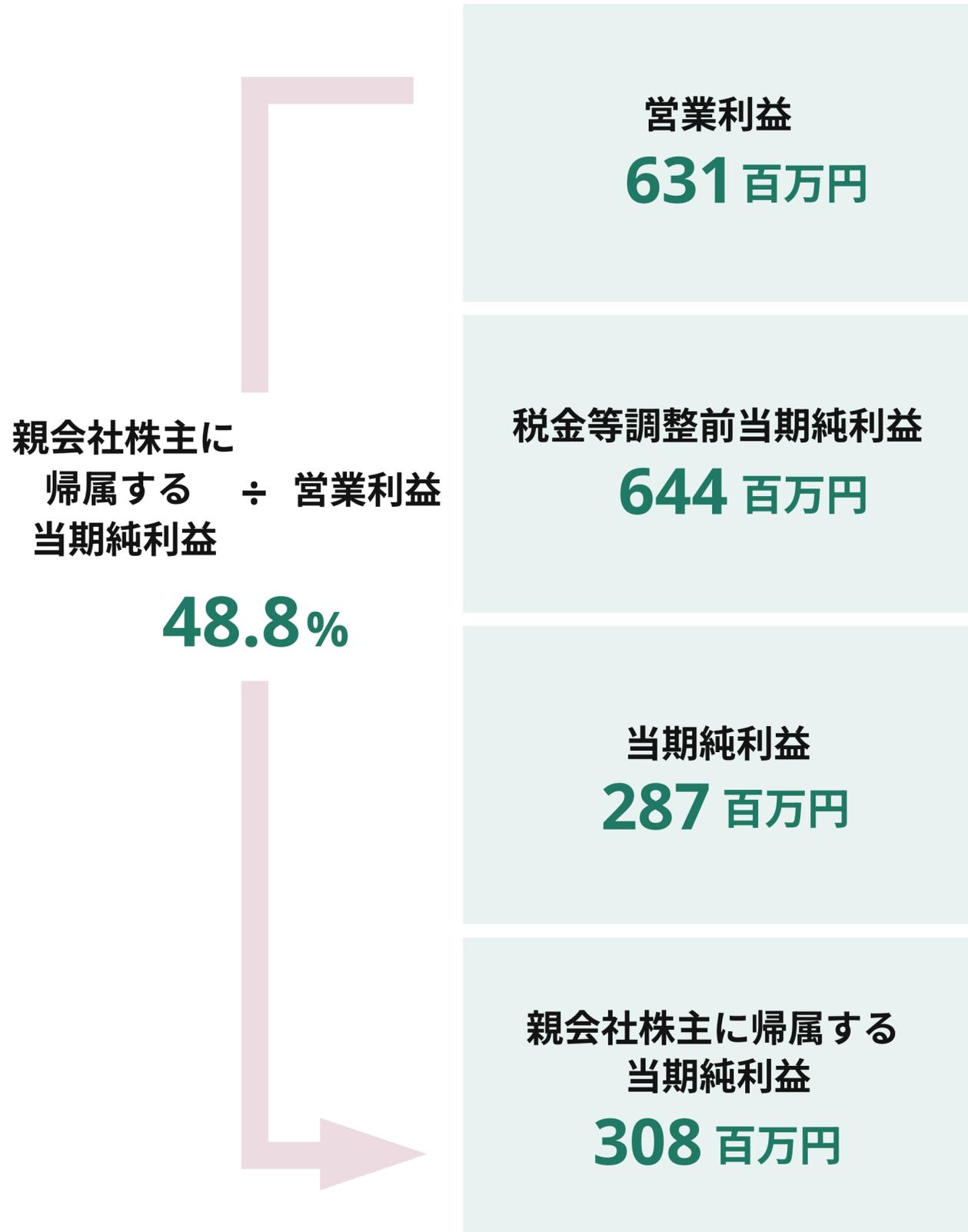
（単位：百万円）

※（）記載している項目の金額は内書を表示。

連結業績 キャッシュフロー分析



連結業績 当期純利益分析



主な項目	
営業外損益	▲131 百万円
特別損益	144 百万円
・ 持分法による投資損失	▲76 百万円
・ 支払利息	▲37 百万円
・ 投資有価証券売却益	184 百万円
・ 事業譲渡益	52 百万円
・ 固定資産除却損	▲46 百万円

法定実効税率 (34.6%) との差異の主な原因	
のれん償却 (損金不算入) による 課税所得増	(のれん償却額) 670 百万円
持分法投資損失による課税所得増	(持分法による投資損失) 76 百万円

対象会社

くふう住まいコンサルティング (旧ハイアス) ※
キッズスター、など

※ 2024年2月1日付で くふう住まいコンサルティング (旧ハイアス) の完全子会社化を実施

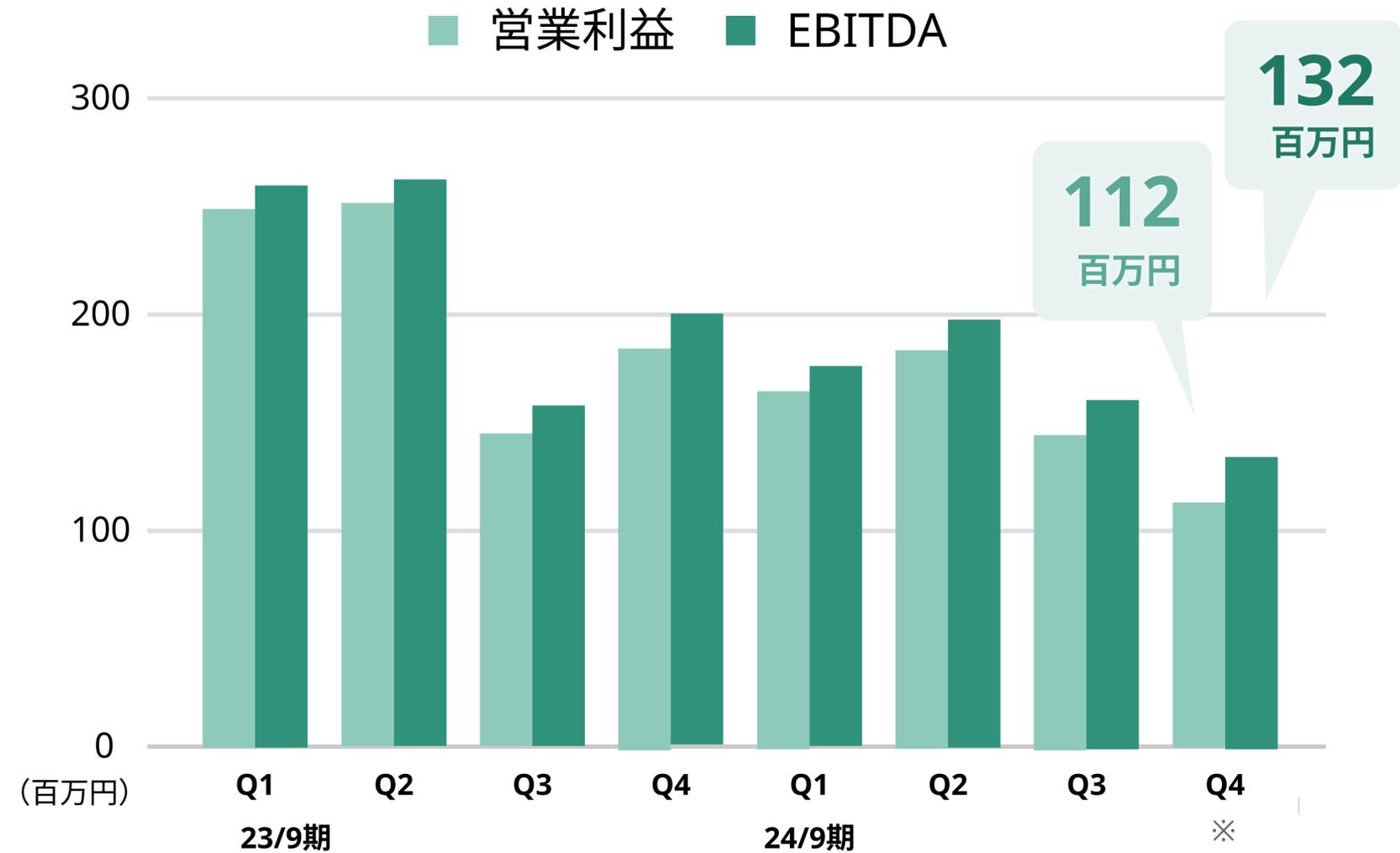
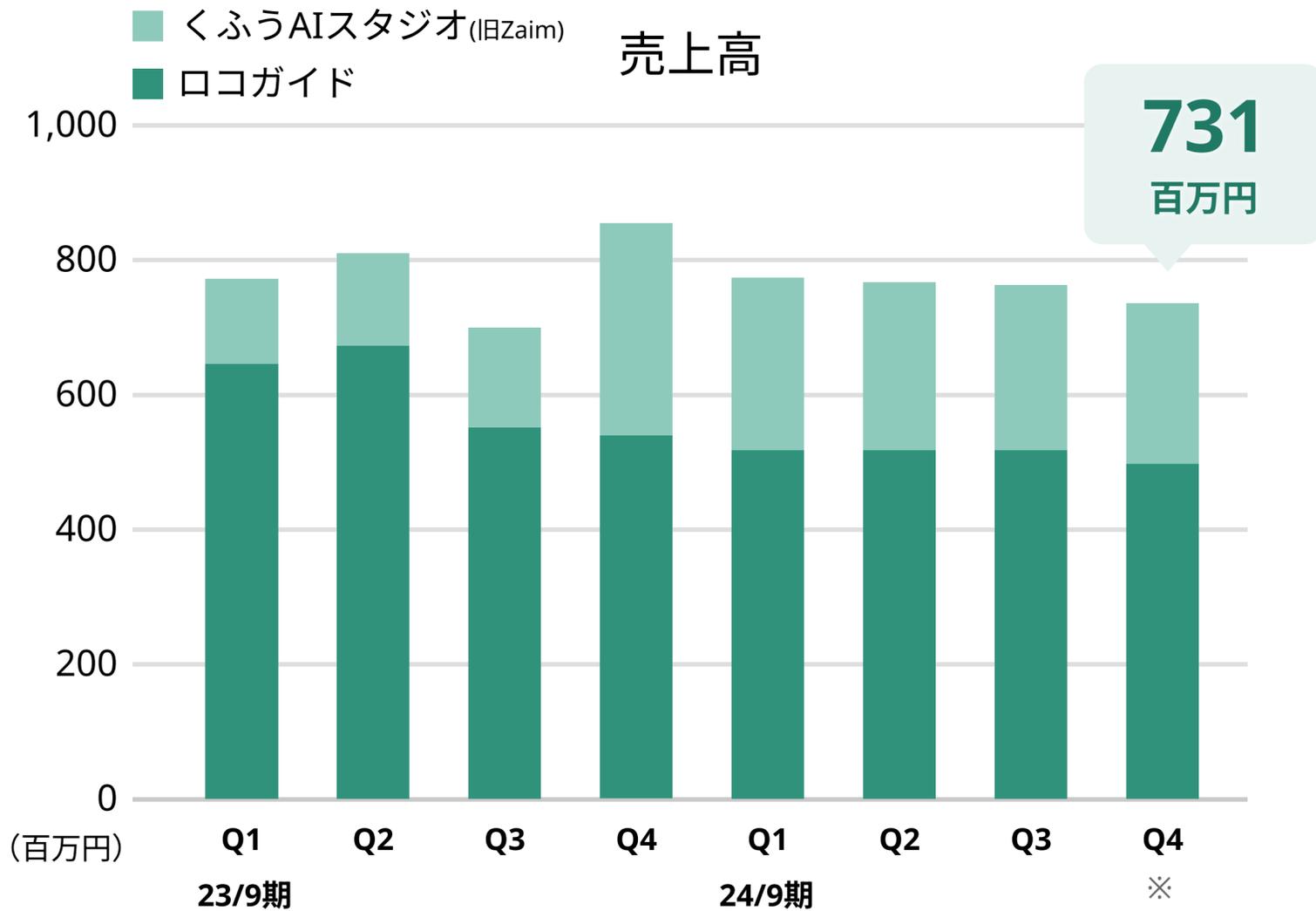
3. 各事業セグメントの概況

毎日の暮らし事業



毎日の暮らし事業 業績 四半期推移

- トクバイ事業は有料掲載店舗数が伸び悩み
- コスト削減を推進するも、通期ではメディア広告の減益による事業全体へのインパクトが大きい



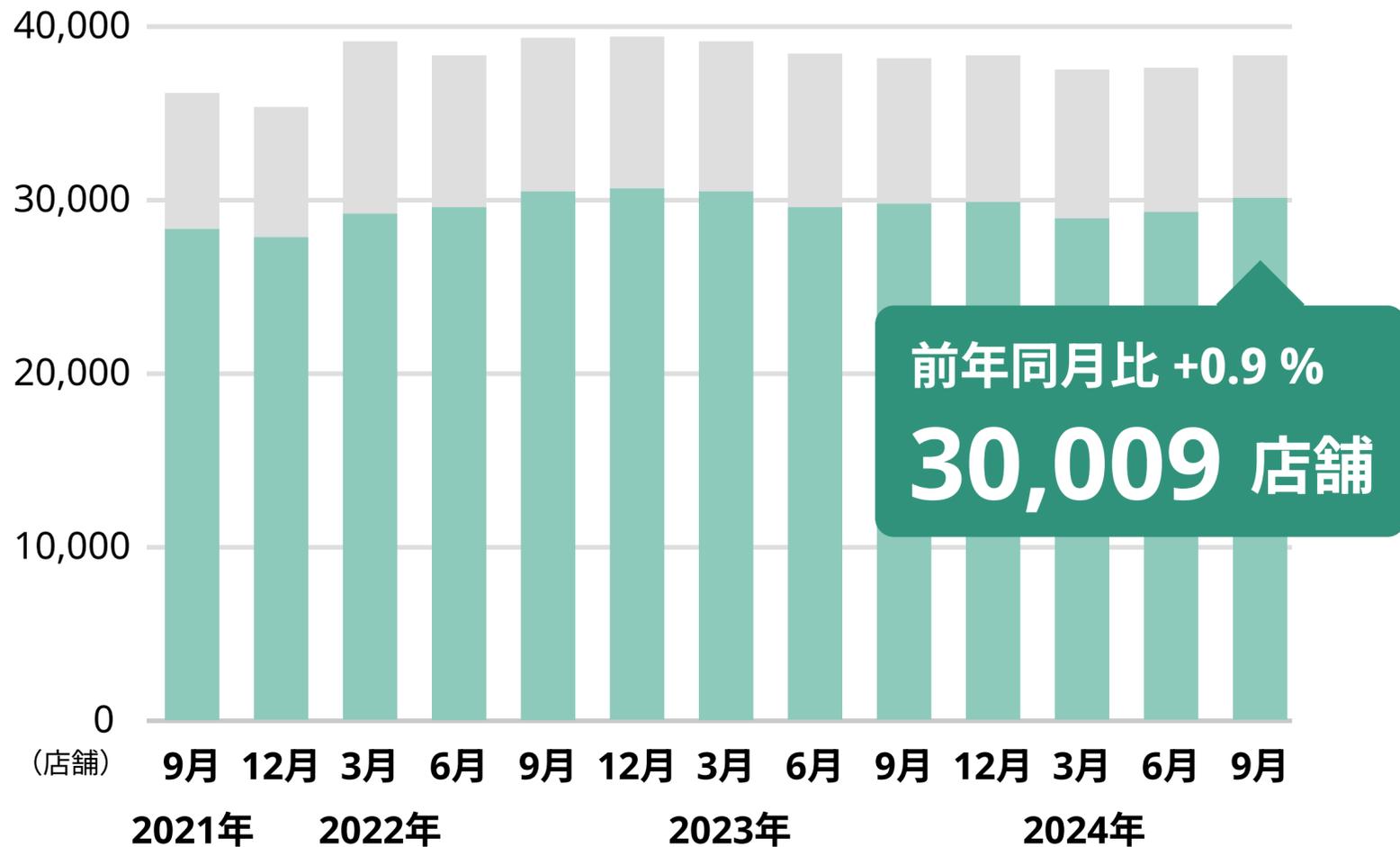
※ 2024年7月1日付で (株)ロコガイド が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)くふうジオデータを吸収合併。

トクバイサービス有料掲載店舗数と平均単価の推移※

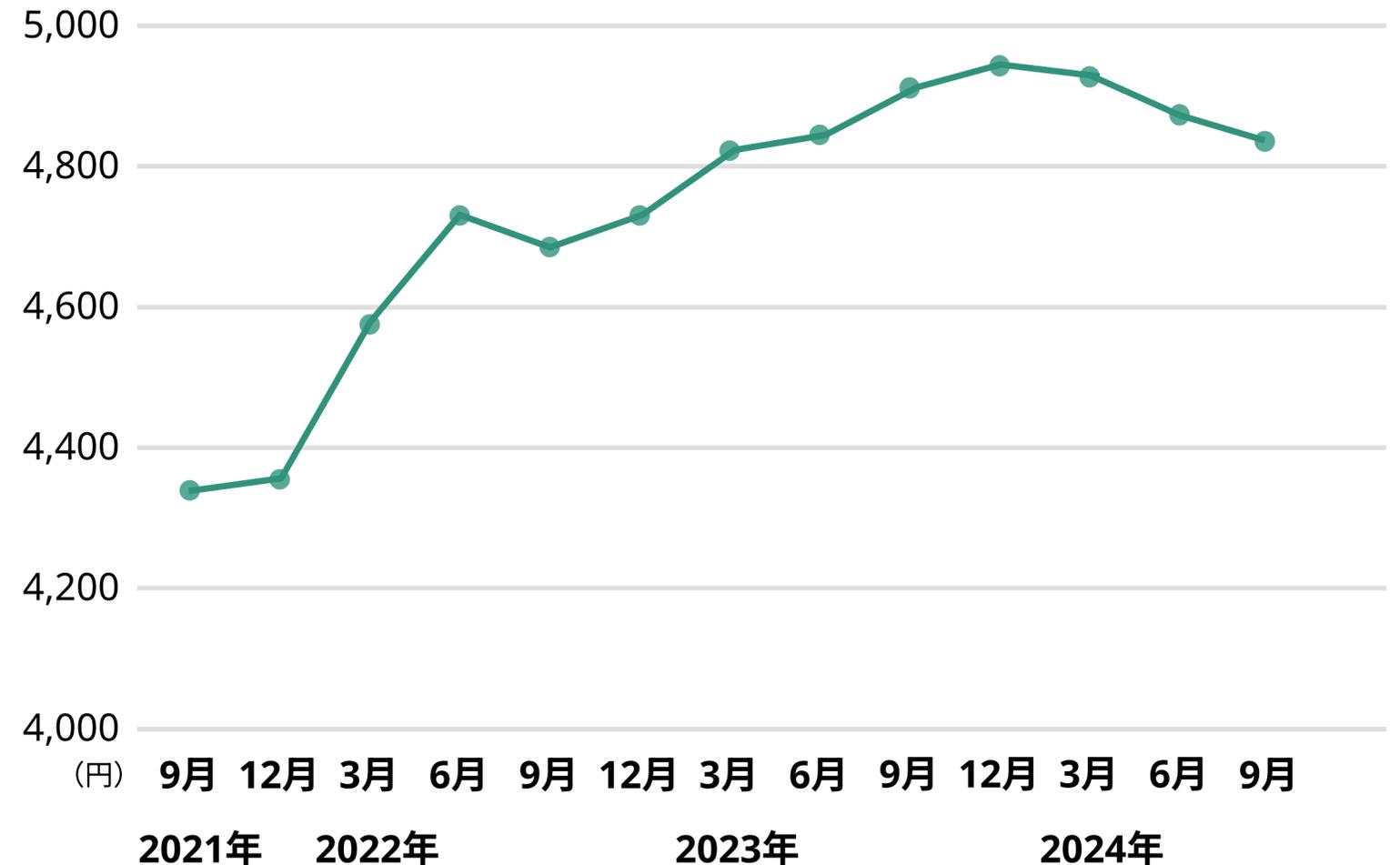
- 2024年9月末時点の有料掲載店舗数は 38,298店舗（定額課金店舗数は前年同月比 +0.9% の 30,009店舗）

有料掲載店舗数の推移

■ 定額課金店舗 ■ 成果報酬店舗



定額課金店舗の平均単価の推移

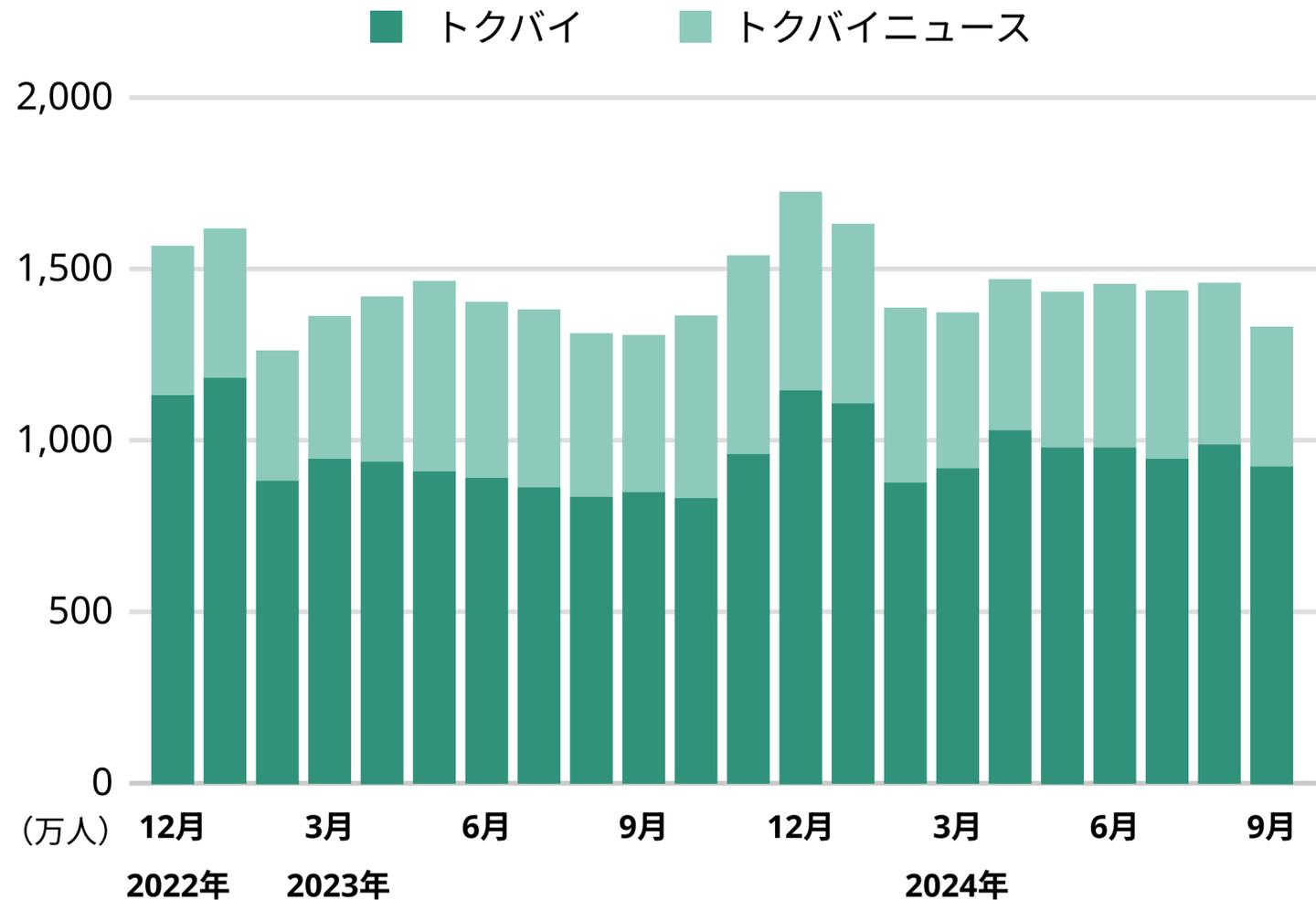


※ 定額課金店舗の店舗数及び平均単価において、コンビニエンスストア約 16,000 店舗との取り組みについては不算入。

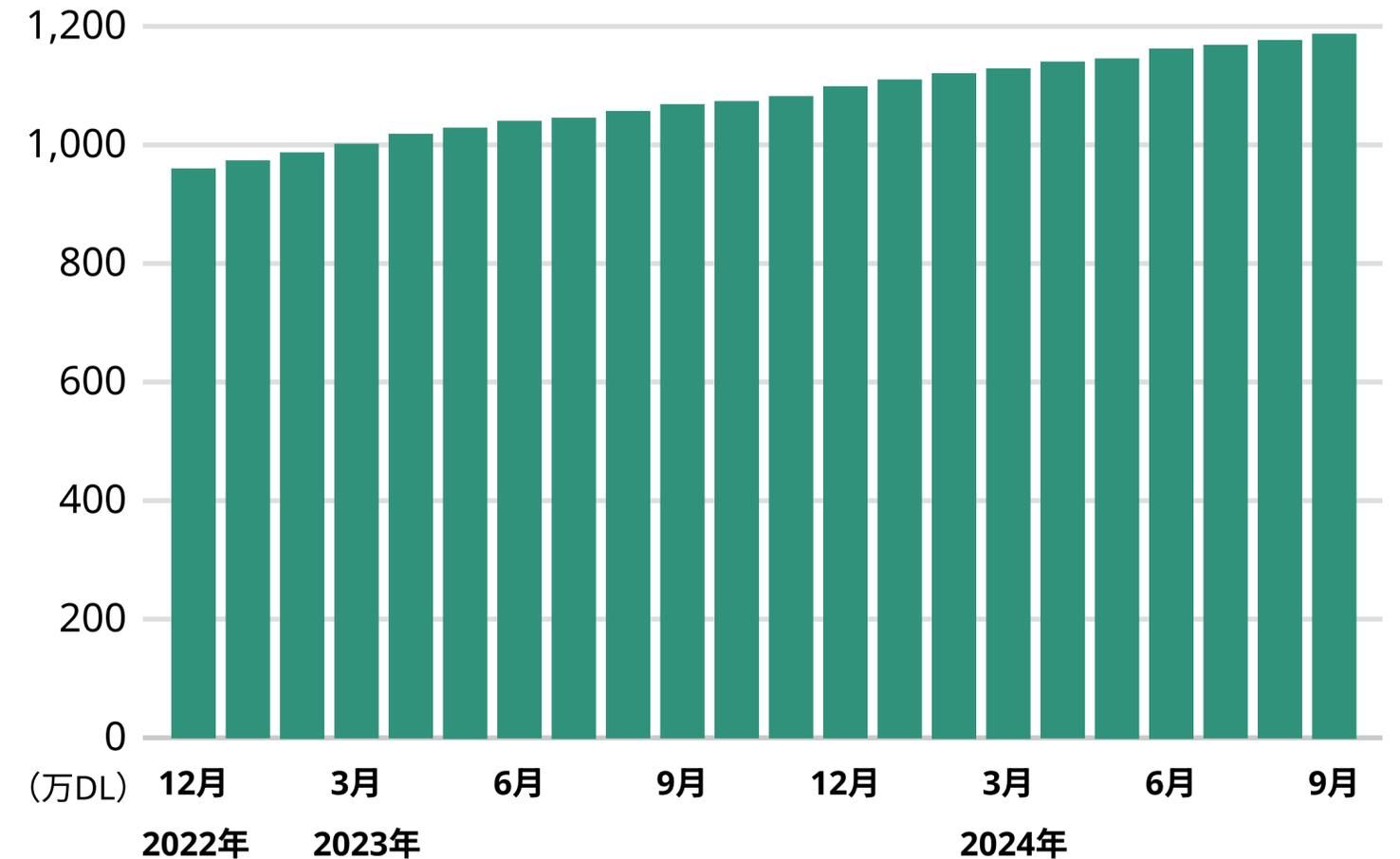
トクバイサービス月間利用者数とアプリDL数の推移

- 2024年9月末時点のトクバイサービス月間利用者数は 約1,300万人、累計アプリDL数は 約1,200万
- 2024年9月末時点のコアユーザー数※は 365万人（2023年9月末時点は 313万人）

月間利用者数



アプリDL数（累計）

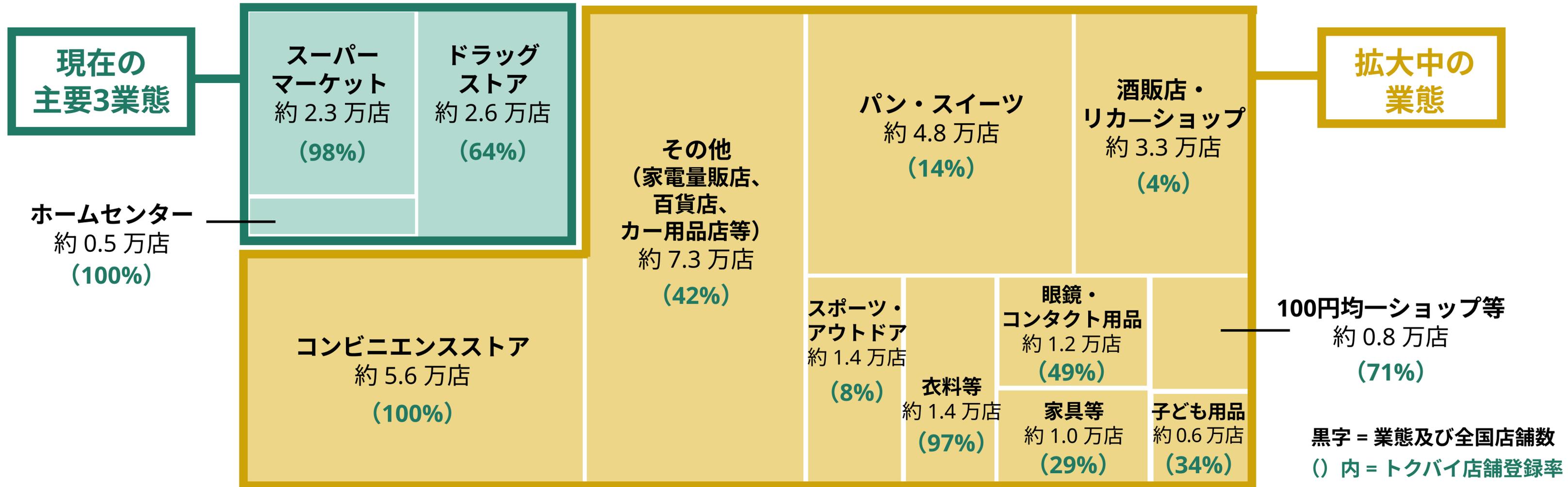


※ 記事閲覧等のライトな利用ではなく、チラシやレシピ、クーポン機能といった生活行動につながる機能を週1回以上利用するユーザーを集計。

小売の情報掲載業態の拡大に注力

- ユーザーの多様な買い物シーンをサポートしていくとともに、各小売業態の販促支援を強化していく

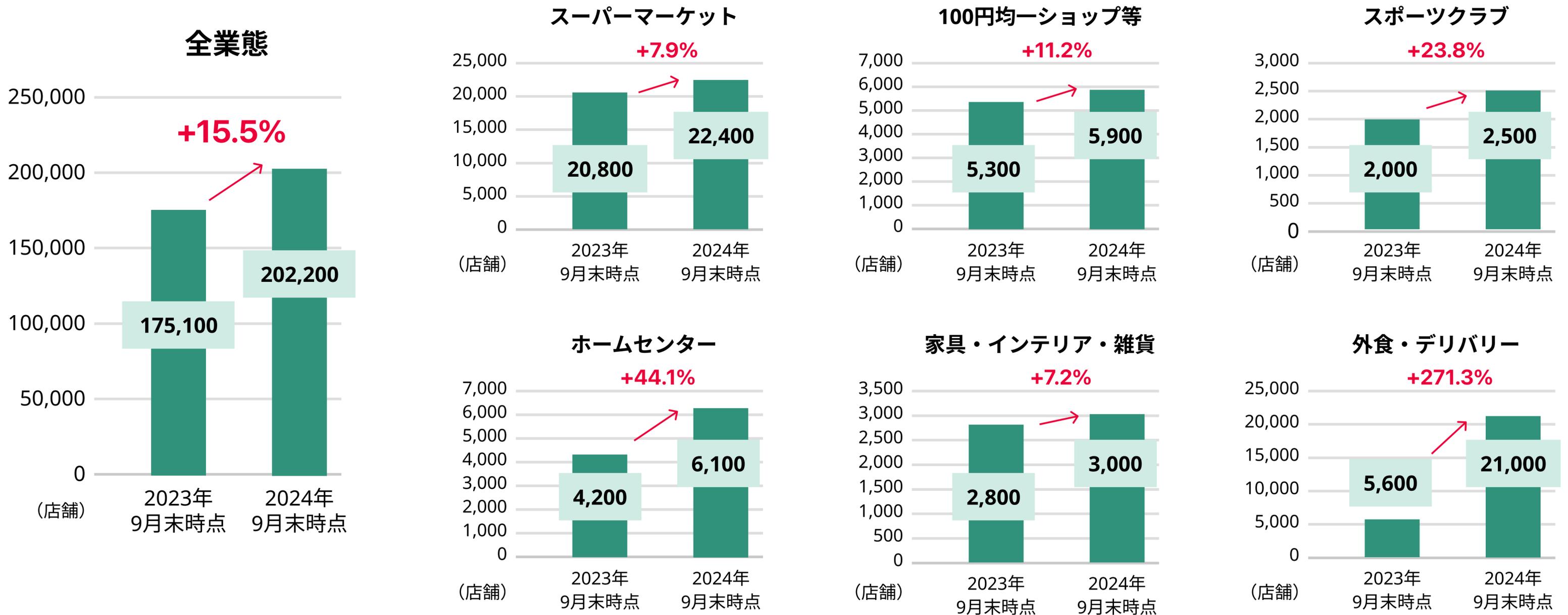
小売における注力業態（約25業態）の市場合計：約 33 万店 ※
 2024年9月末時点のトクバイ登録店舗数：約 17 万店（登録率52%）



※ 総務省「経済センサス」、各業態の協会による公表値、その他調査会社による公表値等を基に当社集計。

- ・ チラシ掲載に留まらない幅広い小売業態から地域サービスまで、トクバイ登録店舗を拡大中

トクバイ登録店舗数（前期末との比較）

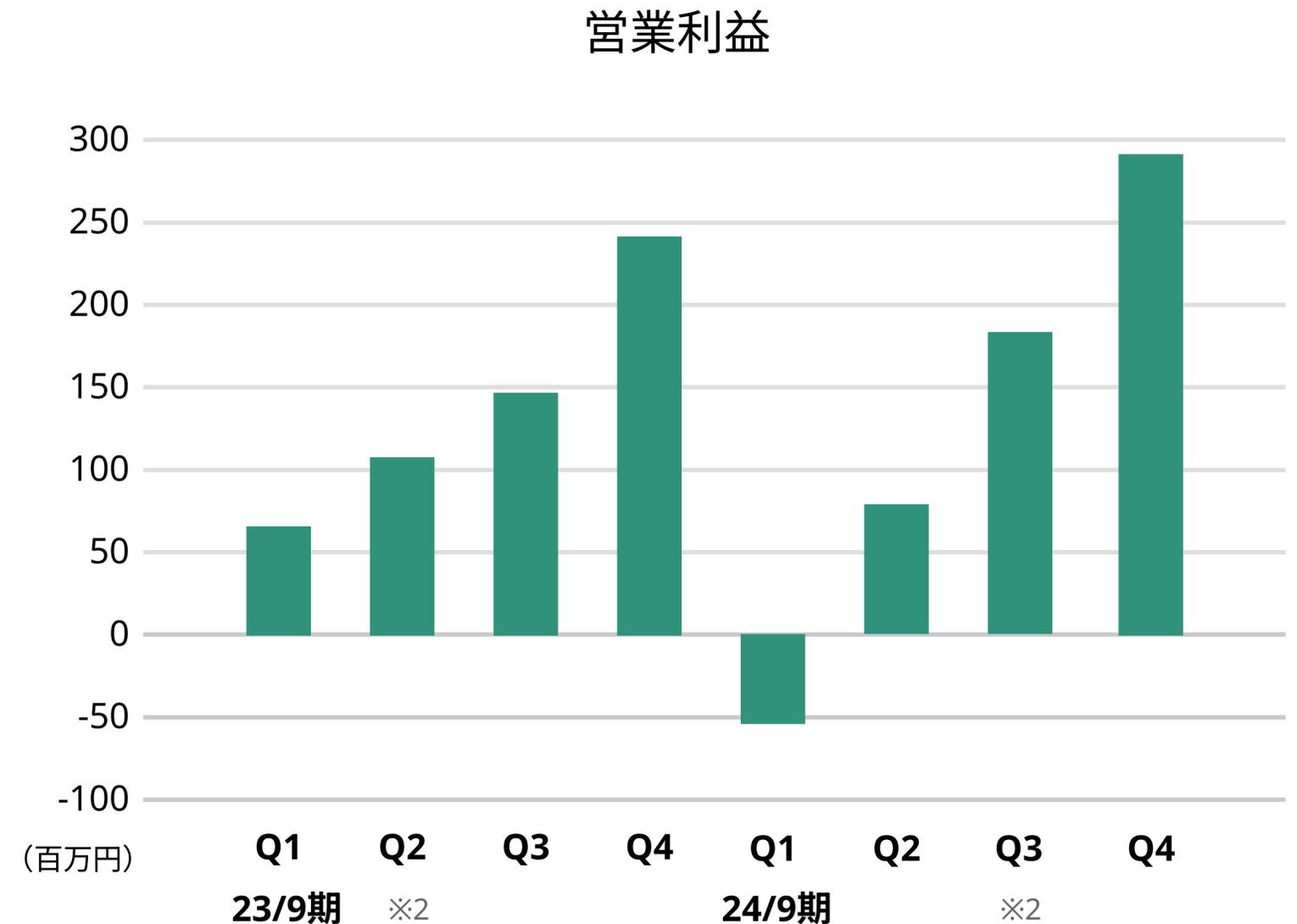
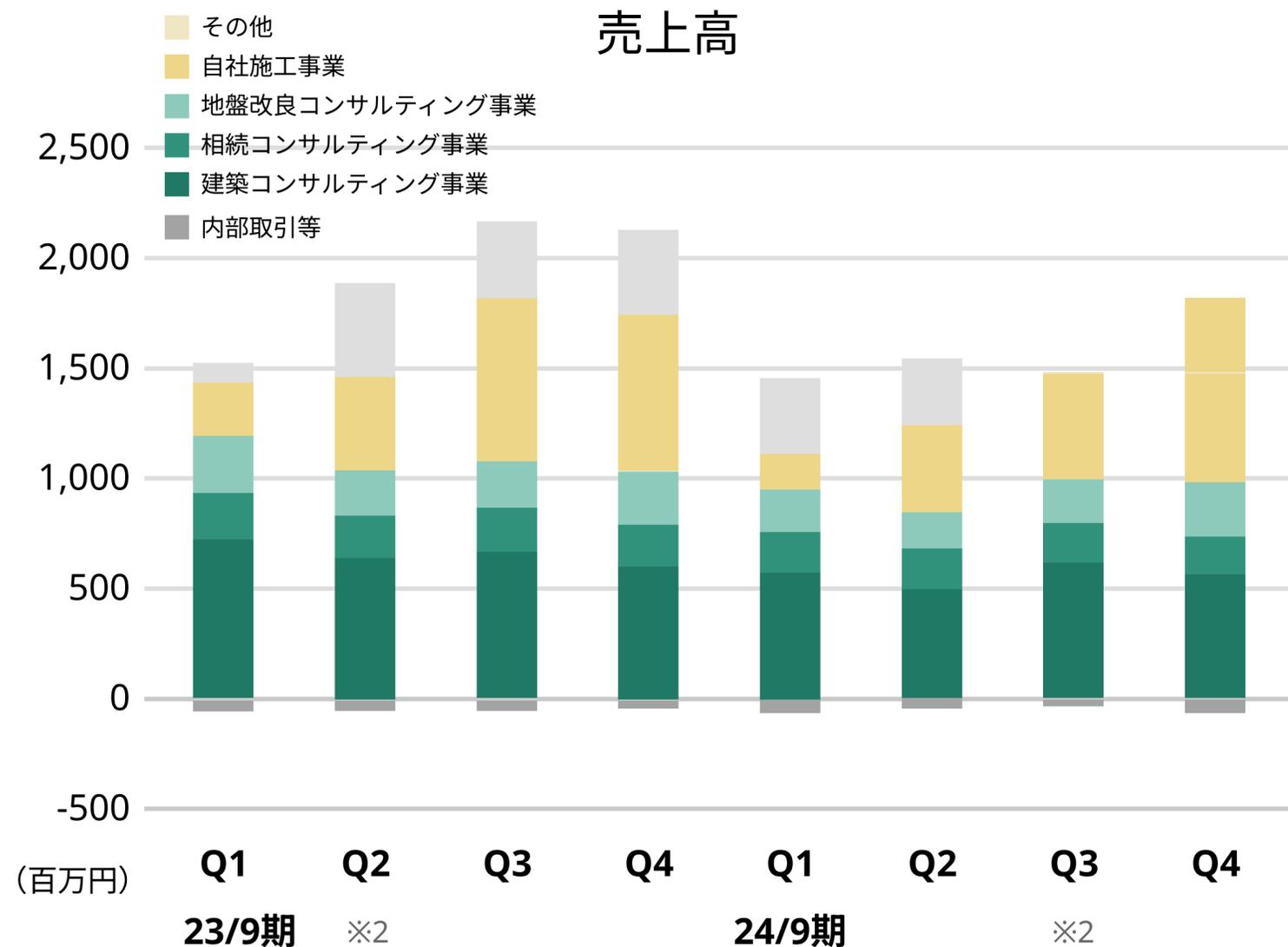


ライフイベント事業



住まい領域（くふう住まいコンサルティング^{※1}） 連結業績 四半期推移 くふうカンパニー

- 引き続き厳しい市況下で、主力の建築コンサルティング事業は工務店からのロイヤリティ収入等が前年を下回って推移
- 自社施工事業は上期に発生した納期遅延により、下期に住宅の引き渡しが集中
- 不採算事業の整理が進み、収益力は改善傾向

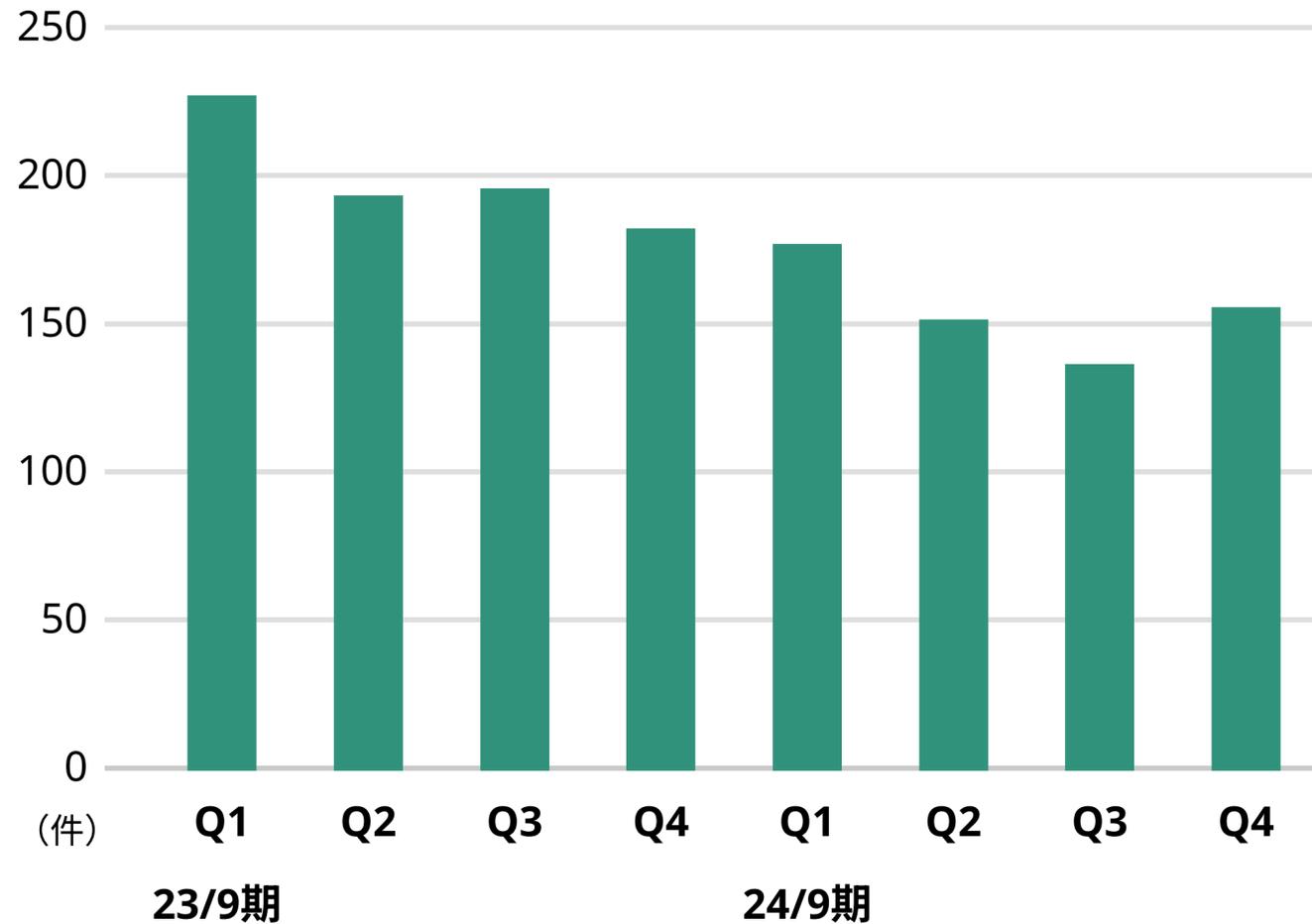


※1：2024年2月1日付で ハイアス・アンド・カンパニー(株) を完全子会社化。2024年8月1日付で (株)くふう住まいコンサルティングへ商号変更。

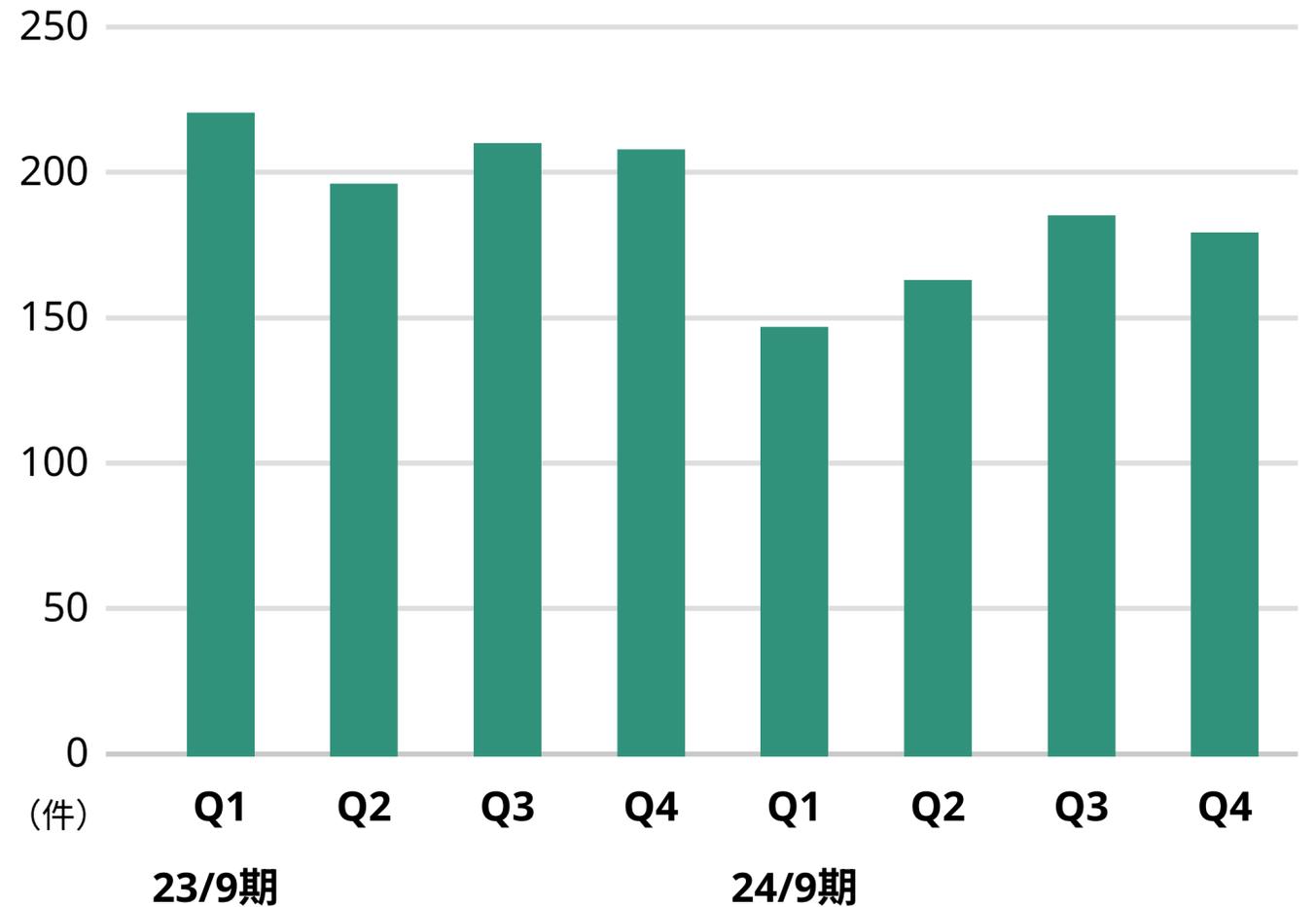
※2：OMソーラー(株) を2023年9月期 第2四半期連結会計期間よりP/L連結開始。また、同社株式の譲渡に伴い、2024年9月期 第3四半期連結会計期間より連結から除外。

- 資材価格が高騰する中、会員工務店における集客がふるわず、住宅関連施工取扱い件数は前年を下回って推移
- 一方、Web集客支援においては一定の効果。価格を抑えたりリノベーション商材が好評、25/9期より規格住宅商品も投入へ

住宅関連施工取扱い件数（着工件数）※



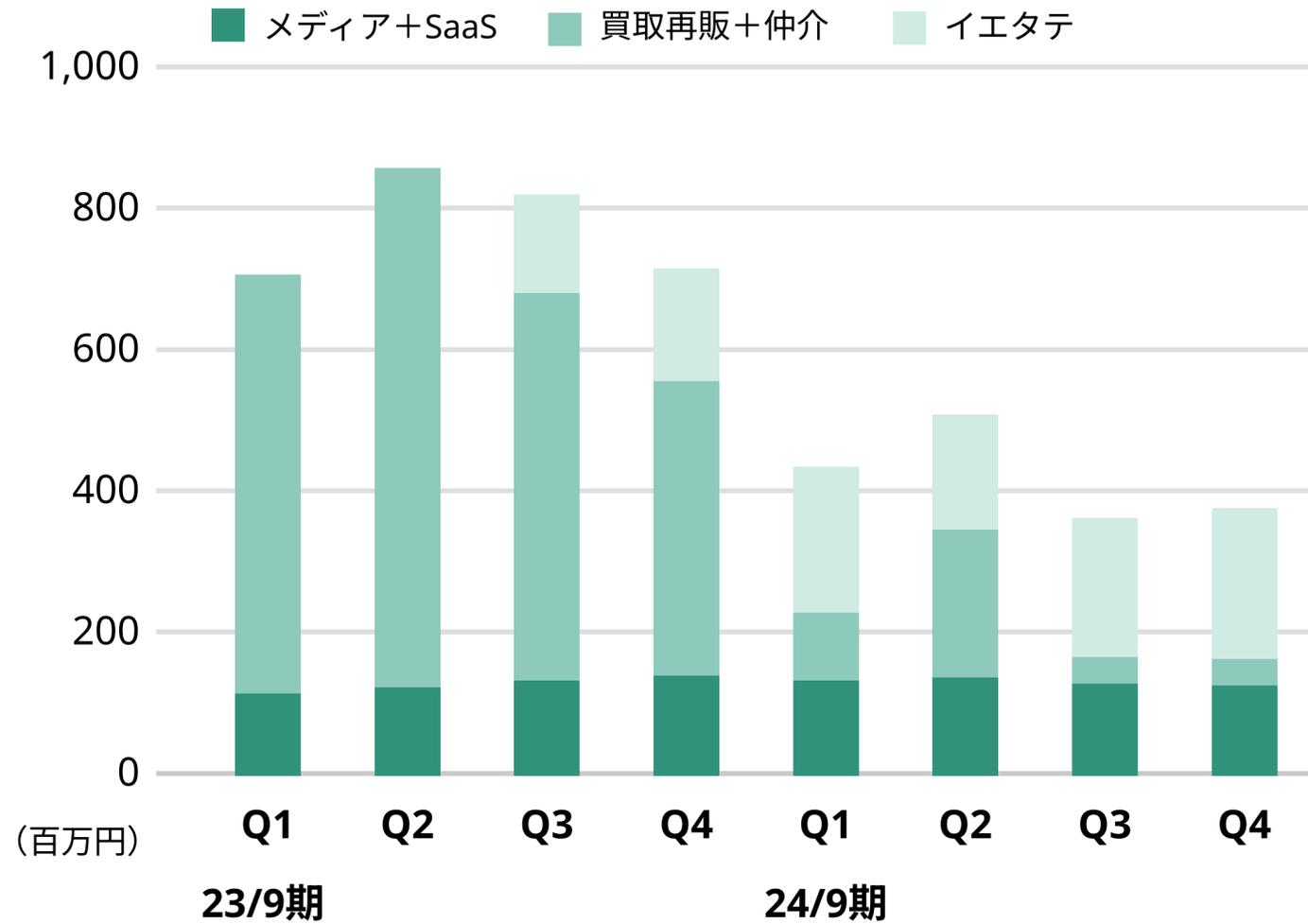
住宅関連施工取扱い件数（受注件数）※



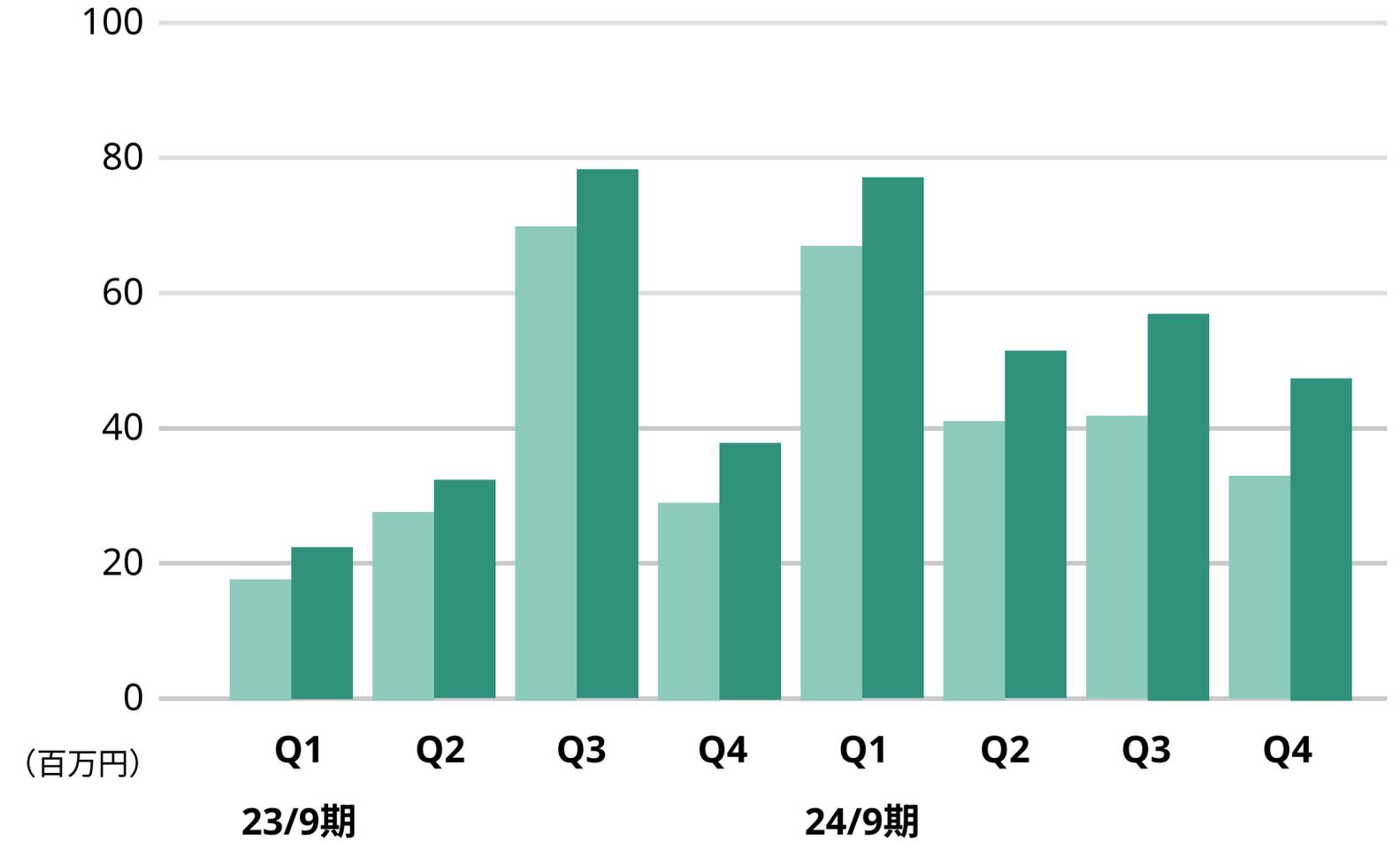
※ (株)くふう住まいコンサルティング の会員工務店及び (株)アールプラスDM の施工数（新築及びリノベーション）を集計。

- SaaSツールの販売は安定的な収益源として寄与
- イエタテ事業は相談カウンターの相談件数及び成約件数が増加、新店舗も概ね計画通りの出店と立ち上がりで推移
- 買取再販サービスは、前期からの在庫整理が順調に進捗

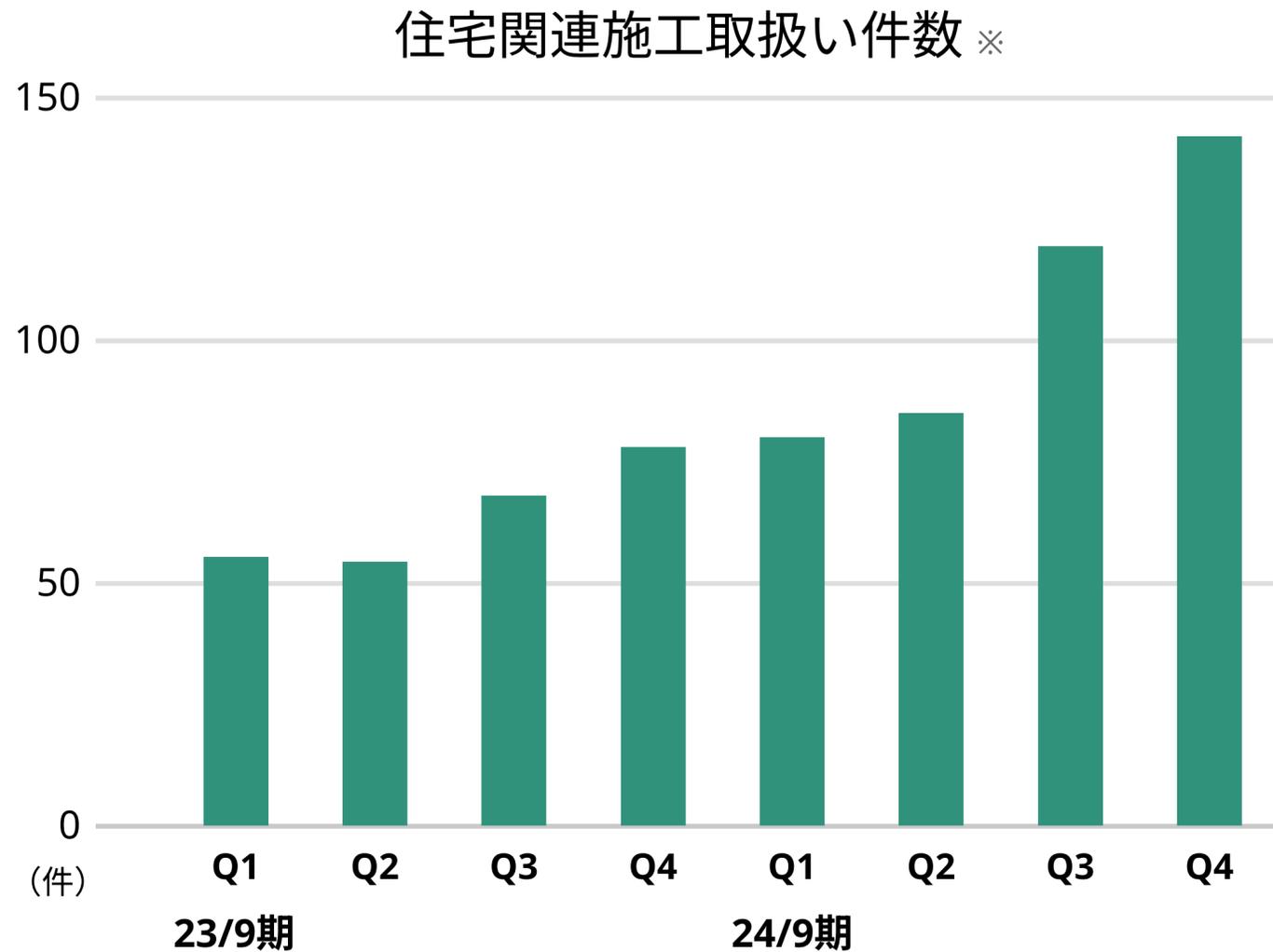
売上高



営業利益 EBITDA



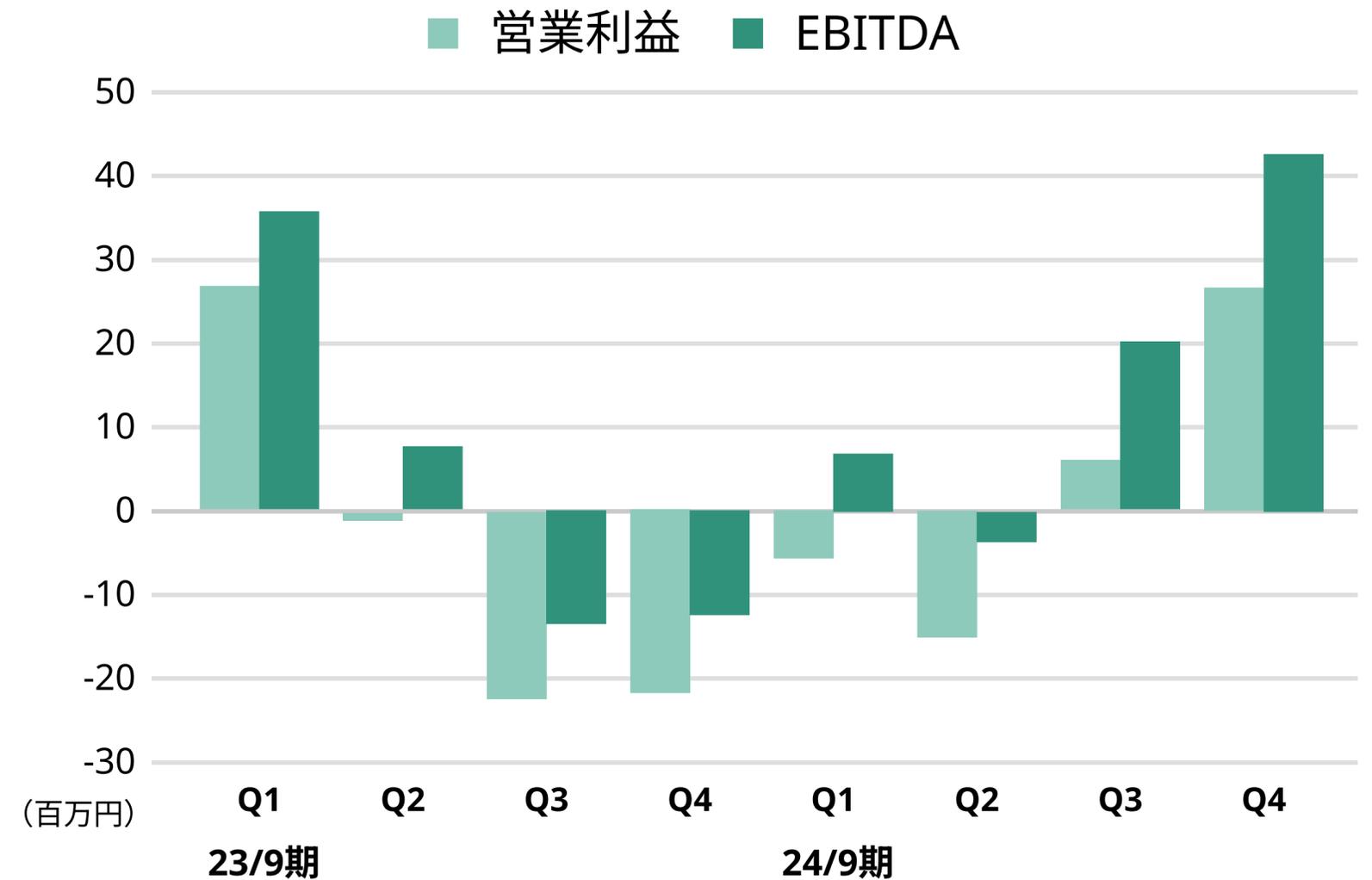
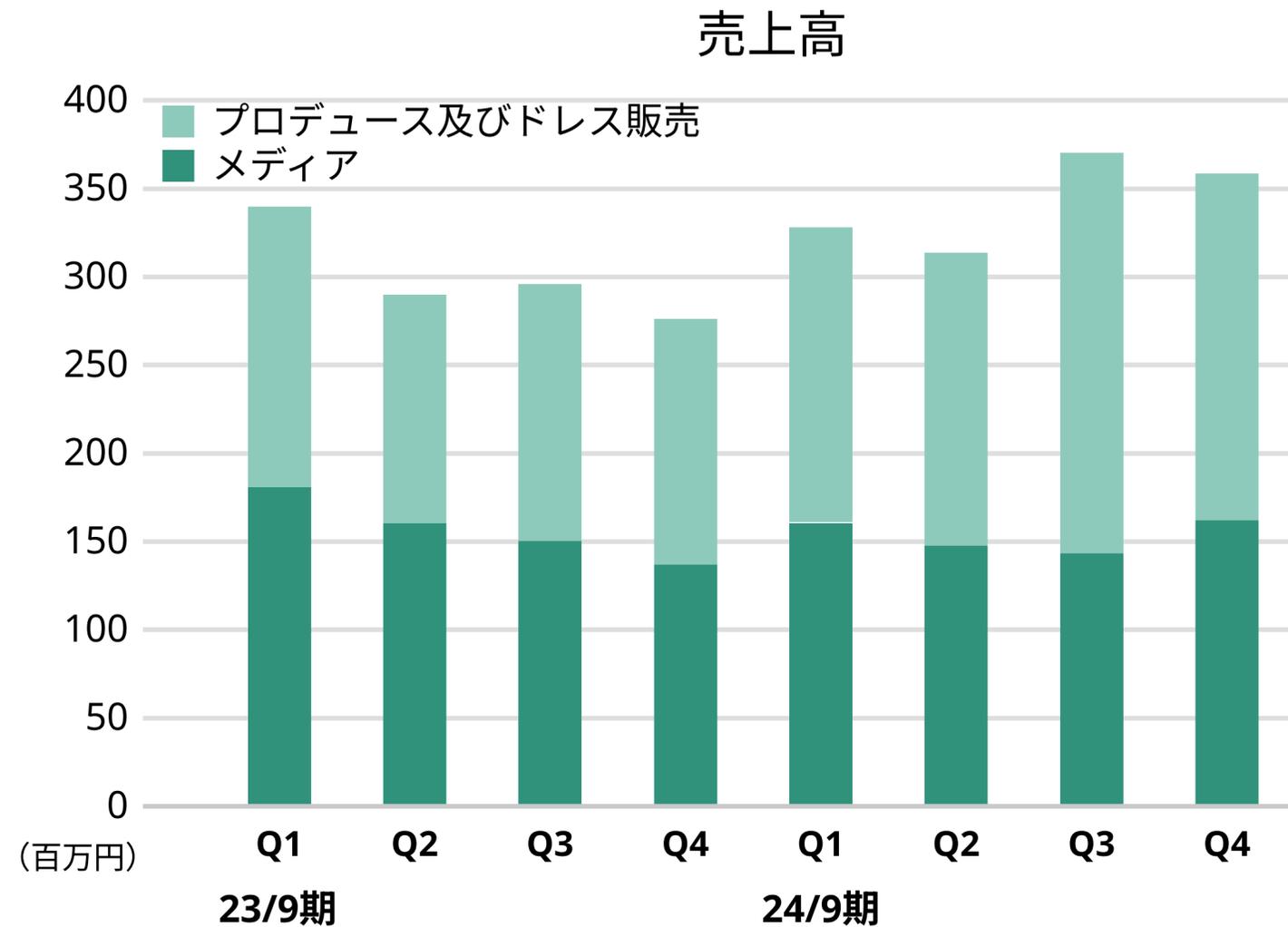
- 住宅関連施工取扱い件数及び相談件数は、相談カウンターにおける既存店舗の伸長と新店舗の立ち上がりによる増加に加え、外部イベント会場等における住宅相談イベントの開催による集客も寄与
- 相談カウンターは24/9期に東海及び北関東エリアを中心に5店舗出店、既存店舗と合わせて11店舗に。25/9期も出店を継続予定



※ ローカルの住まい情報メディア「イエタテ」及び家づくりの相談窓口「イエタテ相談カウンター」を通じて成約に至ったことを当社が確認できた件数を集計。

結婚領域 業績 四半期推移

- メディア事業の市場環境は引き続き厳しいが、WEB招待状サービスやデジタル資料請求サービスなど、式場向けサービスの拡充による収益力強化を推進
- 結婚式プロデュース事業は施行件数が増加、受注も堅調に推移し、領域での通期黒字化を達成

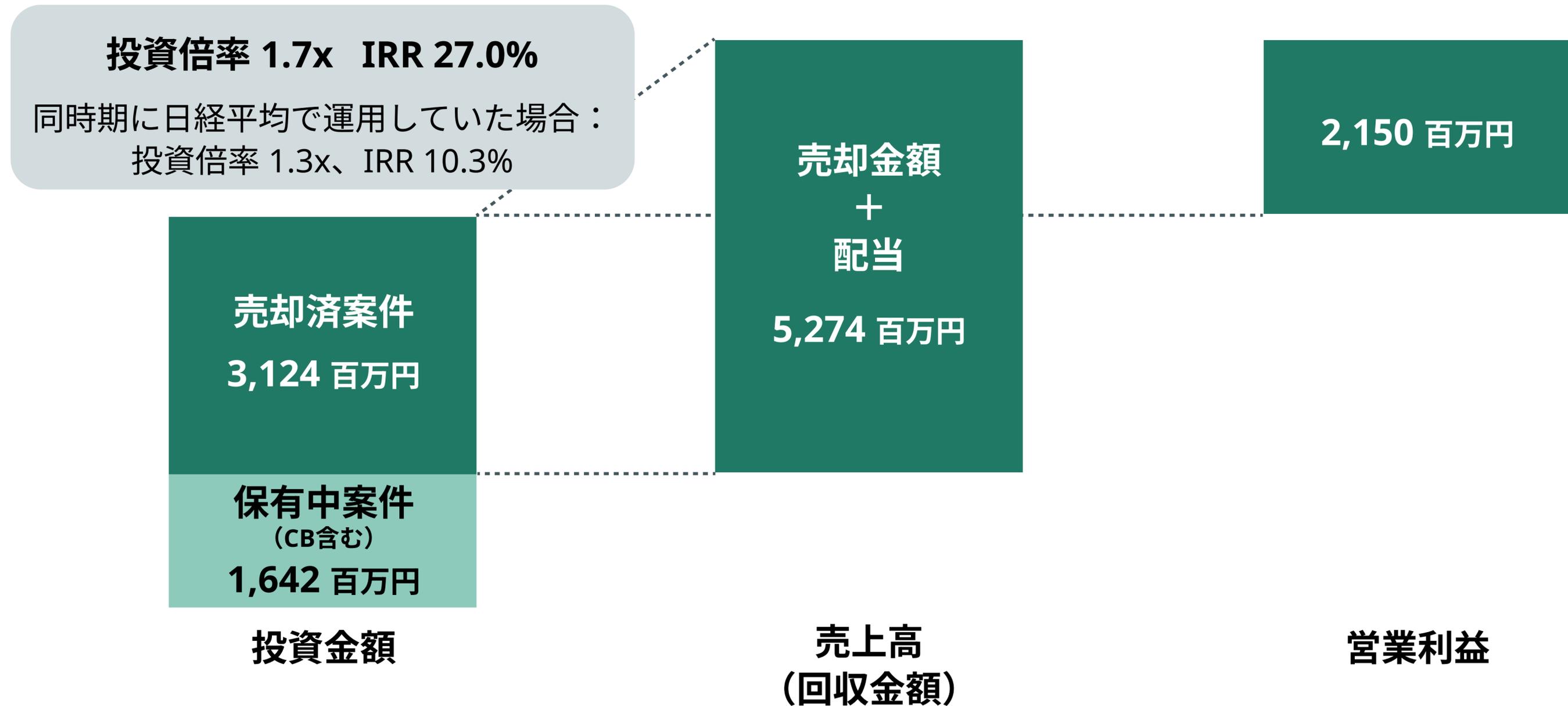


投資・ インキュベーション事業



純投資事業 累計実績 (2024年9月末)

- 24/9期は 12.7億円を回収し、5.4億円の利益貢献
- 純投資事業においては、「長期的に成長する事業/会社」への厳選投資を行う方針



※ 投資倍率 及び IRR は売却済み案件のみを対象に計算。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競争、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

お問い合わせ

コーポレート・コミュニケーション部 IR担当

E-mail : ir@kufu.co.jp HP : <https://kufu.co.jp/>